

2024年9月30日

日本政策投資銀行の「DBJ環境格付」取得に関するお知らせ

当社は、株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）が実施する「DBJ環境格付」を2024年9月30日に取得し、同格付けに基づく融資を受けました。

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューです。

今回の格付では、「環境への配慮に対する取り組みが先進的」との評価とともに、以下の点が評価されました。

- (1) 「環境調和型製品」の開発をマテリアリティの主要施策に位置付け、トップマネジメント主導のもと、SDGs教育等による企業価値向上に向けた全社的な環境意識啓発を行いながら、オーケストラやフジワンの環境保全や気候変動に対応する環境調和型製品の公表と、そのグローバルな販売普及をもって、事業を通じた環境・食料問題等の社会課題の解決に邁進している点
- (2) 上記で掲げる「環境調和型製品」の開発や、長期ビジョン「食とくらしのグローバルイノベーター」の具現化に向けて、顧客の環境・社会ニーズを多方面から拾い上げながら、化学・生物・安全性研究一体の効率的な研究開発体制やオープンイノベーション等の仕組みを通じ、「レイミーのAI病害虫雑草診断」やドローン散布に適した農薬開発等のスマート農業分野を中心に、イノベーション創出に向けた取り組みを推進している点
- (3) CSR調達アンケートや人権デューデリジェンスへの着手に加え、一部カテゴリに一次データを活用して国内外のスコープ3の集計を実施するなど、環境経営の高度化を進めるとともに、全社横断的なサステナビリティ推進体制の整備や事業変革を見据えたマテリアリティの特定など、サステナビリティ経営の着実な実践を図っている点

NICHINOグループは、中期経営計画「Growing Global for Sustainability」にて、サステナビリティ経営の推進を成長戦略としており、技術革新による安定的な食の確保と豊かなくらし・環境を守るべく挑戦し続け、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

以上

■本リリースについてのお問い合わせ先

日本農薬株式会社 総務・法務部 総務広報グループ

Tel : 0570-09-1177